



金匱要略聞書卷四

南涯吉益先生講說

嘔吐噦下利病脉證治第十七

嘔ハ声ノアリ物アルノ名ニシテ氣ノセマリ逆亞ニテ氣主ナリ半夏ノ主治スル所ナリ柴胡湯ノ呑ハ心中ニカルす吐ハ声ナク物アルシ名ニテ血主ナリ血氣腹ヨリセマツテ致ス所ナリ陰症ノ部ニアリ腹中ヨリサシコムナリ脚氣

十トニ吳茱 莖ヲ用アルハ血ノセマリナリ 嘴ハ嘔ヨリ  
劇シクセマリツヨク重ナリ 嘴ハ世俗ノ所謂シヤクリ氏  
又乾呑ノ声ノ長キモニ氏云此ハ氣逆スルヲ水滯アリテ  
支ユルナリ故ニ枳實ヨク應スルモノナリ下利ハ上ヘ  
セアリ嘔吐アヒ必下利スルナリ留飲ニテ呑スルモノハ心  
下クルシキナリ

○夫嘔家有癰膿不可治嘔膿盡自愈  
此章ハ先人ヨリトラサル所ナレ其義ハ知ルベシ深ク拘ハ  
ルベカラス故ニ舉テコレラ始ニオク

○嘔而胸滿者吳茱 莟湯主之 吳茱

萸湯方吳茱萸一升人參三兩生薑  
六兩大棗十二枚右四味以水五升煮  
取三升溫服七合日三服

此湯ハ氣セマリテ嘔スルナリ劇シキニ至レハ血氣トモニセマリ  
故頭痛アリ又血氣セマリツヨキ故ニ大棗十二枚アルナリ小柴  
胡湯ト疑途アリ小柴胡湯ハ外ヨリセマリテ胸脇滿而  
嘔此湯ハ内ヨリ血氣セマリテ嘔而胸滿ス然ハ嘔ハ主ニシテ  
胸滿ハ客ナリ此湯ノ病ハ輕ナリ一等重ケレハ食穀欲  
嘔又乾嘔吐涎沫又劇症ニ至リテ氣セマリツヨキ

モノハ必下利アリ少陰病ノ吐利手足厥冷煩躁欲死ト  
云モノ此ハ吳茱萸湯ノ極症ナリ又脚氣ニテ嘔氣ノ  
ヨク食ヲサマラサレニ効アリ史記大倉公ノ傳ニトウ風ト  
号シ呑シ水直ニ大便ニ下ル病モノナリ如此ノモノニ効  
アリ心得テラルヘキナリ吳茱萸湯ハイツレえノセマリ  
ツキラ治入剝底ニ至リテハ血氣トモニセマリ吐利厥冷トナルト  
心得ベシ此血主ニシテ水ハ客タルヲ知レギナリ半夏十ト六呑ノ  
当クナレハ水タマリタルヲ氣ノセマルヨリツクナルヲ治ス故水  
主ナリ次ノ吳茱萸ノ章、胸中ニアル所ノ水ヲ血氣セマリ  
テ吐スルナリ故涎沫アルナリ桂枝湯トノ辨別ハイヤントミハ  
乾呑甚シキトキハ頭痛ナリ桂枝湯ハ頭痛甚シクシテ  
後ニ乾呑フリ呑ノ先後ニナルヲ知ルベキナリ十枣湯ナトノ  
此ニテ生乾ノ差別ヲ知ルベキナリ

○乾呑吐涎沫頭痛者吳茱萸湯主之  
○嘔而腸鳴心下痞者半夏瀉心湯主  
之半夏瀉心湯方半夏半升黃芩

乾薑 各三兩 人浸 甘草 各三兩 黃連

一兩 大棗 十二枚 右七味以水一斗煮取  
六升去滓再煮取三升 溫服一升 日

三服

此章ハ先東洞翁ハ人參ノ方中ニアルヲ見テ心下ニ痞  
鞕アルベシ然ハ痞ノ下ニ鞕ノ亨ノ脱セシモノト見ラレタリ  
然レニ嘔而腸鳴ト云モノ軽キナリ鞕ニナルモノハ下利  
アルナリ毫シテイオタ下利セサルカ故ニ痞ハカリナリ此

所ニ意ヲ留テ見ルギナリ 腸鳴ハ輕シ雷鳴ハ重ナリ  
生姜鴻心湯ハ氣ノセマリツヨキヨリ下利アルナリ 血氣不  
循環ニヨツテ水溜リ留飲トタル水溜カ故ニ雷鳴トタル雷  
鳴ニイタハ必下利アルナリ 小柴胡湯ト茱ハ少シノ違  
アリ能辨別スベシ 柴胡湯ハ麻黃ヨリ一麥ノ水ニテ外  
ヨリセマリ氣發セスセマリ下利アリ又腹痛アリ此湯  
ハ内ヨリセマリ血氣不循環ニすリ水溜リタルナリ故氣  
ノセマリ当ノ痞鞕スレハ下利アルナリ  
雷鳴ト云モノハ氣水分ヘ達セサルナリ 此  
ヨリ人參三兩アルナリ

○乾嘔而利者 黃芩加半夏生姜湯主之

黄芩加半夏生姜湯方 黄芩三兩 甘草二兩

芍藥三兩 半夏半斤 生薑四兩 大枣

十二枚 右六味以水一斗 煮取三升

去滓 溫服一升 日再夜一服

乾呕而利者六物黃芩湯ナリ 傷寒論ニ太陽與陽明合病自下利者與黃芩湯若呕者加半夏生姜湯主之トアリ 是黃芩ハ先心下ニ痞マリ 膽シテ鞭ミ至リテ不利ニレナリ 吾痞シテ氣下ヘメクラス下利スルナリ 呕而

下利スルニアニえ氣セマルニツケテ水タマル故ニ呕スルナリ 下利而呕者ナリ 方中ニ芍藥ハ氣セマリ 血室ルナリ 表位ニ滯ル然氏圭支ト合スレハ表位ニ繫リ 黃芩ノ大枣ニ合スレハ心下ニセマリテ 呕スルナリ 心下ニセマル故ニ自下利スルナリ 下利方中ニ人參アレハ芍藥ナシ 芍藥アレハ人參ナシヨク意ヲ可用ナリ 利ハ氣脱シテ 利スルナリ 矢ハ心下痞ニヨツテ下利スル故ニ自下利傷寒論中ニオキシナリ 黃芩加半夏生姜湯ニ乾ノ字ナキカ可ナリ 生姜ハ呕乾姜ハ乾呕也向ヘセマルハ芍藥ナリ 芍藥ハ血ノ向コズカラ治スルモノナリ 故率急ナリ

○諸嘔吐穀不得下者小半夏湯主之

金匱要略ハ傷寒論ト達。テ文章正シカズ故諸字

ヲ置ク其他諸黃家十トノ文アリ。氣逆スルヨリ如此ノ

症ヲアラバ、故ニ嘔ノミナリ劇症ニ至レハ吐スルナリ。是心下ニアル水ヲ氣逆シテ嘔スルナリ。大半夏ト異ナリ。食得下而後吐ス。是腹ニアリ。血氣セマルニッイテ吐スルナリ。小半夏タリ。タル食物カ血氣セマルニッイテ吐スルナリ。是心胸中ニアルノ症。復湯ハ氣逆スル故ニ穀不得下ナリ。是心胸中ニアルノ症ナリ。故ニ嘔シテ吐スルナノ劇ニ至テ吐スルナリ。一休小半夏ハ心下ニ溜リテアル水ヲメクレベキ氣ニシカヘニ閉ラレメクルトアタハサレヨリメクルシテ氣逆シテ嘔スルナリ。

○小半夏湯ハ嘔ガ主ナリ。嘔吐ハ大半夏湯ナリ。不得下ト云々。大半夏复ト異立所ナリ。是水タマリテ穀下云々。大半夏ハ

穀得下ヲ一旦食已吐スト云ラ見テ其差別ヲ知ルベキナリ。

○嘔吐而後思水者鮮急與之思水者  
猪苓散主之猪苓散方猪苓 茯苓  
朮各等分右三味杵為散飲服方

寸七日三服

嘔吐而後水ヲ思フモノハ鮮スルハ是傷寒論五苓散ノ條ニ太陽病發汗後大汗出胃中乾煩躁不得眠

欲得飲水者少々與飲之令胃氣和則愈ト云モノト同意ナリ此飲水ニハアラス水ヲ思ナリ小半夏湯ハモト留飲ナレカ故ニ嘔シテモ渴セサルナリ方中ニ汎鴻アヘ水ヲ思ハカリニアテ必渴アリ是氣ニカルナリ汎渴ハ血ヨリテ水ヲ逐故ニ渴シテハ水ヲ欲シ水タマレハ吐出水也ナリ猪苓ハ氣ノメクリアシク心下ニ水氣來ラサルナリ括夢渴ラ治スルハ血ヨスミテ渴スルナリ此故ニ身體強ルルニタリ又乳核ナトノ血ノユルモノラサハツニ用其舌モ黒ク潤汎ノ胎病在膈上ノ四字ハ思水ノ字ニツイテ後人注文ヲイレタルナリ而後ノ間ニアルヘキ理也他例ヲ推シテ知ルビ

○嘔而脉弱小便復利身有微熱見厥者

難治四逆湯主之四逆湯方附子一枚

乾薑一兩半甘草二兩石三味以水  
三升煮取一升六合去滓分溫再服

此湯ハ氣メクリアシク不循環ニシテ血氣既ニセマルハ附子ノ主治ナリ逆スレハ厥ラアラスナリ通脈四逆ハ厥逆トテ氣外ヘセキル故ニ外熱裏寒ノ文アリ此身熱ハ内ヨリセマリテアラハルナリ

○嘔而發熱者小柴胡湯主之小柴胡湯

方柴胡半斤 黄芩 三两 人参三两 甘

草二两 半夏半斤 生薑三两 大棗

十二枚 右七味以水一斗二升 煮取六

升去滓 再煎 取三升 溫服一升 日三服

嘔而發熱ハ柴胡湯ノ主症す 是表ニサハテツギ發熱スルナリ 發熱スル必胸腹苦滿ハオキナリ又發熱モ汗出レハ 止ナリ 汗出ニ隨テ 呕モヤムナリ 麻黃ハ表ヨリ來ル其位ミアリテ 嘔スルナリ 一変シテ 柴胡ハ嘔ニナルナリ

喘ハ上ナリ 吐ハ下ニ位スルナリ 呕ハ胸中ニアリイツキ 劍シテ  
吐スルナリ 此章マテ 嘔ヲ論セシナリ

○冒反嘔吐者 大半夏湯主之 大半夏湯

方半夏二升 人蔴三兩 白蜜一升

右三味以水一斗二升 和蜜揚之二

百四十遍 煮取二升半 溫服一升

餘分再服

小半夏湯トノ別ハ小半夏ハ穀不得下故ニ呑ラ主トス此  
湯ハ一旦食ラサカリタルモ血氣ノセマリニヨリテ吐スルナリ胃  
反ノ名アリ千金方ニ嘔而心下痞鞭トアリ先人東洞翁  
ハ此ヲ是トシテ用テタルナレ凡瘡鞭ハ効疵ニ至ラサレハア  
ラハレス始ハ唯吐スルノミナリ

大半夏ノ湯ニ乾姜人参半夏丸又便閉ノモノハ大  
柴胡湯効アリ

冒反小腹脇ノ辺リ石ノ如ク硬モノ大半夏湯硝石大  
圓兼用反冒ノ疵上ヘ迫リツキ物タマル故ニ甘味ナト與  
レハラケス夫ヨリシテ却テ吐ツヨクナルモノナリ如此ノ症ニハ枳  
実剤ヨク應スルモノナリ厚朴三物湯大柴胡湯ニ宣シ  
キモノナリ

○食已即吐者大黃甘草湯主之大黃甘  
草湯方大黃四兩甘草一兩右二味  
以水三升煮取一升分溫再服

此湯ノ疵ハ大便堅ニ在ナリ是ハ氣上(セア)嘔吐スルニヨリ  
テナリ然レヒ甘草ノアマキヲ嫌人アリ此心下ニ水タマルヨリ  
然リ枳実ヨク彼甘キヲ嫌フ水ヲサハク故ニ大柴胡湯  
ヨク効アルナリ食已即吐シテ甘キヲ嫌フマリサヤウノ疵  
ニ厚朴大黃湯調冒承氣湯ヨク應スルモノナリモト  
大柴胡湯ハ心下ニ水タマリテ氣ヲ閉ルラ治スルノ切ナリ

反胃ノ症多少腹ニ堅塊ナトアルモノナリ 消石大田 大黄  
硝石丸ヲ兼用シテ妙アリ 然レニ本剤ニ大黄アレハ兼用ニ大  
黄ヲ用ス

○反胃ハ大便閉ルキナリ此上ヘ差故ナリ 大黃甘草湯ニ宣

○胃反吐而渴欲飲水者 茯苓澤瀉湯主

之茯苓澤瀉湯方茯苓半升 沢瀉生

姜各四兩 茵草一兩 桂枝二兩 水三兩

右六味以水一斗煮取三升 内 沢

瀉再煮取二升 半溫服八合 日三

服

此章ハ氣逆シテ外發セサルノ意アリ故ニ圭支ヲ用何レ  
此湯ハ水ヲ吐出シテハ渴シ又水ヲ飲テ二三日スギテ  
又吐スル症ニテ腹痛十ドアリナリ 痘狀ハ腹一面ニ満セス  
心下ヨリ腸胃ノナリニ凸ノ筋タチ脹ルアリ 沢瀉ハメ  
カリタル水ヲ逐テ吐出スルモノヲ治スルノ功アリコレ血分ノセマ  
リアリ劇症ニ至レハ眩冒スルナリ此湯ハ吐シテ渴スルナリ茯  
苓飲ハ吐出水スレモ渴矣 茯苓澤瀉湯ハ兼大黃硝石  
湯ヲ用テ便ヲ通シテ可す

○氣逆シテ吐出水モノハ茯苓沢泻湯血氣閉ルモノハ  
茯苓飲。○茯苓飲ハ胸ヨリ心下ニ及フモノナリ茯苓沢泻  
ハ胸ヨリ腑傍ニ及モノナリ医タルモノ其病位ヲ知ラ  
スレバアルベカラズ

○三黃ノ薄ク煎スルハ氣ヲ主トス濃煎スルモノハ味ヲ主  
トス血ヲ主トスルモノナリ

○乾嘔吐涎沫半夏乾姜散主之半夏  
乾薑散方半夏乾薑各等分

右二味杵為散取方寸匕漿水一升半

### 煎取七合頓服之

此湯ハ氣胸膈ニセマツテ涎沫ヲ吐スルナリ半夏ハ呌アル  
ヲ以テナリ此湯ハ逆当シ乾姜人参半夏丸ニハ人参  
アリ腹ヨリセマツテサシコムアリテ食物ヲ吐スルナリ人参  
ノ症ハ多ク腹ヨリサシコムモノナリイレ乾呕ノツヨキニ  
因テ吐スルト知ヘキナリ是氣逆ノ徵ナリ此藥ヲ散ニス  
ルモノハ病胸中ニアルヲ以テナリ○甘草乾姜湯ハ  
氣逆シテ辛厥冷スルナリ半夏乾姜散ハ氣逆ニ  
ヨツテ涎沫ヲ吐スルナリ

○病人胸中似喘不喘似嘔不嘔似

噦不噦徹心中憤憤然無奈者生姜

半夏湯主之生姜半夏湯方半夏半升

生薑一斤右二味以水三升煮半夏

取二升內生薑汁煮取一升半小

冷分四服日三夜一

此湯ハ氣逆ヲ主ニシテ水ヲ動スルナリ水動テ咽喉ニセヨルトセノ端ニナル生姜カ主ナルヨリ水動ナリ其セヨル

所或胸中或心下ト其所ヲ定メス小半夏湯ハ水主ニテ氣ハ客ナリ心下ニ水滯リ氣ヲ閉ルニヨリ氣セヨツテ逆スルナリ此湯ニモ是リナキ故ニ涎沫ヲ吐スルモノアリ又傷寒論中ノ甘草乾姜湯ハ氣逆ニヨツテ手足厥スルナリイツレ氣逆スルモノ手足厥シ又大便堅ニアルアリ半夏ノ水ハ氣道ニカ、ラヌ茯苓ノ水ハ氣道カルナリ

○乾嘔噦若手足厥者橘皮湯主之橘

皮湯方橘皮四兩生薑半斤右二味

以水七升煮取三升溫服一升下咽

即愈

此湯ハ氣ノ變ナリ氣セマリ閉ル故ニ手足厥アリ噦ハ乾  
呴ノ声ノ長キモノ又シヤクリト見レシヤクリハ水ニテ氣ヲ  
閉ルナリ逆スレモノニハアラス橘皮枳実生姜湯ヨク應  
スルナリ氣ヲ逐ハ生姜ナリシヤクリナト食後十トニアルハ  
食ミテ氣ヲ閉ル心アリ氣力ヨハク水ニ支ヘテレタル意ナリ  
○橘皮剤ハ胸中ニテ水氣ヲ結テ血氣不循環ヲメク  
ラス方ナリ

○乾呴ハ氣逆ニシテ水ハ容ナリ呴ハエツキノ声アルモノニテ  
吐ク氣アリ吐ハ血ニカリ声ナシ○吳茱萸湯ニ呴アリ  
此ハ輕ナリ手足冷ルナリ腹ヨリセマリ乾呴キヒシキ

トキハ後ニ屏、冷スルナリ○橘皮ハ上ヨリ開ルナリ初發ヨリ  
足冷ルナリ胸ニテ閉キルナリ桂枝ハ下ヨリセマルナリ

○嗽逆者橘皮竹茹湯主之橘皮竹茹

湯方橘皮四  
竹茹二升大枣三十枚

生姜半斤甘草五兩人復一兩

右六味以水一斗煮取三升溫服一升日三服

此章ハ前章ヨリ劇シク咽喉へ痰喘十セマルアリ  
セマリシキ故ニ大枣アリ竹茹ハ痰喘咽喉ニセマルモノアリス

○嗽二橘皮枳実生姜湯ヲ用叱ハ水ニテ氣ヲ閉ルナリ生姜  
枳実ハ氣ノセマル氣ヲ治ス留飲アリテ嗽スルモノハ小半  
夏湯○噫ハラクビナリ血分ノフメグリヨリ生ス何レニ  
モ人参アリ半夏生姜ハ氣セマリ水タマルナリ甘草乾姜  
唯氣ノタマラナリ故眩スルナリ附子ハ氣脫スルナリ生姜ハ氣  
ノセマルモノヲ逐良アリ石膏ハ氣伏シテ熱充モノヲ治ス

### 右論乾嘔嗽

○下利腹脹満身體疼痛者先溫其裏

### 宣四逆湯攻表宣桂枝湯

此下利ハ汗ノセマリツヨキナリ氣ノセマリツヨキナリ故ニ表ヘセマリテ  
脹滿トナルナリ氣ハセマリ裏ヘメクラン故ニ清穀下利ナル  
ナリ表忘ノ身疼痛トノ別ハ表瘰水ニテ外癧ノ氣ヲ閉  
テ逆スル故ニ身疼痛至アリ大青龜湯ナトヲ以テ發汗  
スレハ愈ルナリ此章ハ四逆湯ヲ用テ氣逆ヲ治シ外行  
ノ氣ヲ收ムルトキハ身疼痛モ愈ルナリ若下利止テモ  
ナキ身疼痛ノモノハ主支湯ヲ以テ血氣外行ノモノヲ  
治スルトキハ全快スルノ義ヲ示スナリ

凡下利ニ三等アリ此湯ナトハモト四逆ト号セシト南涯  
先生ノ説アリ然レ氏臆説ニ似タレ氏サニアラスヨクヨク意  
ヲ止メテ考ベシ凡外襲シテ表水段ミト内ヘセマルモノ  
此ヲ逆トス是内ノ氣外發シテ皮毛循環スベキモノヲ

外ヨリ内ヘセマルハ常ニ反ス此ヲ逆ト云ナリ又四逆湯ノ症  
ノ如キハ皆手足ヨリ漸ニ腹部ヘセマリ逆スル故ニ厥  
アルナリ劇ニ至レハ冷ニナルナリ腹ヘ逆スレハ氣モセマル故ニ  
胸膈ニ及ナリ胸膈ニセマリツマレハ又表ヘセマルモノ故ニ身微  
熱ノ症トナリセマリツヨキ故ニ裏寒外熱汗出而厥ナト  
云ラ以テ詔トスヘキナリ

○身体疼痛ト云トキハ裏症ニテ四逆湯ノ主治凡所ナリ  
身疼痛ト云トキハ表症ニテ桂枝湯ノエク所ナリ身体  
ト云トキハ骨ニカカリ身疼痛ト云トキハ肉ニカルナリ四逆  
湯ノ症ハ其極ハ気外行スヨリ脹滿ニテ水ハ下降互ナ  
リ腹ノ内ガハグハトナルモノニテ脹滿スルモノハ附子  
ノ主治スレ所ナリ

○下利三部皆平按之心下堅者急下之

宣大承氣湯

此章ハ下利スレ氏三部ハ脉平ト云トナリ然レ氏此文体  
古ナラス三部ノ一ハ晋王叔和ノ脉經十トニ三部九候  
十ト、云候法アリ繁雜ニシテ依據スルニ足ラス徃古三  
部ト云ハ頭腹足ノ脉ヲ動ク診察セシフアリト云ヘ氏  
其傳ヲ失ス大允下利ノ症此大承氣湯ナトラ用ニ  
ト云モノハ今世俗ノ痢病ナト、号スルモノニ効アリ  
附子剤ノ下利ハ心下堅ノ證ナリ口中和シテ腹痛  
アリ脉モ微弱力微細ニナルナリ能辨别シテ忽ニ

スベカラス三部脉皆平ヲ脉皆如平ト如字ヲ加テ可  
ナラカヨク意ヲ留テ考ベシ

○大承氣湯ハ腹部ノ水上へセヨルノ症ナリ故ニ腹  
滿而喘又心中懊惱而煩或喘冒不得臥ナト、云ニ  
テ腹水上攻スルト心得テヨシ心下堅モセヨリ上テナスト  
心得テ宜ナリ 四逆湯ハ血氣退クモノ故ニ心下堅ノ症  
ハナキモノナリ

○下利譏語者有燥屎也小承氣湯主  
之小承氣湯方大黃四兩厚朴二兩

枳實三枚右三味以水四升煮取一升  
二合去滓分溫二服

此章ハ下利劇シクシテ食便ハ通セス利ヨツテ内ノ  
水ハツキ久故ニ燥屎トナリ燥屎アルモノハ譏語スル  
ナリ能ニ診察シテ急諸スベカラス此次ノ三章大承氣  
湯ヲ處スニ脉ヲ以テス脉兼洞翁ノトラサル所唯其症ニ後アモ

○下利便膿血者桃花湯主之桃花湯方  
赤石脂一斤乾薑一兩粳米一升

右三味以水七升煮米令熟去滓溫七

合內赤石脂末方寸匕日三服

此章ハ痢疾ノ類ニ服セシメハ滯滯シテアシキナリ或ハ  
二三年膿血ヲ下スモノニ効アルナリ然レ疋東洞翁ハ痢病ノ初發  
ニ下剤ヲ多ク用ヒ紫圓十トヲ兼用シテ瘻シ玉アト聞  
シナリ總テ痢疾ニ下重アリ其度數七八十行アル  
モノハ攻擊剤ヲ服シテ能愈ルモノナレモ腹痛モノ  
ク度數モサナク更衣ノタビニタク通スルモノアリ難治  
ノ症トナモナリ能医タルモノハ治療ニ意ヲ用ベシ

イツノ北涅ハ下利便膿血多シテ食便ハ通セズナキモノヲ治  
ス是便膿血主ニシテ便ハ客ナレバナリ桃花湯方中  
赤石脂ノ上品十キトキハ鉄砂ニ代ルナリ便膿血ノ膿ハ  
濃ノアマリカボタボタト膿ノ如ソコキ血ノ下ルモノナリ

○熱利下重者白頭翁湯主之

○下利欲飲水者白頭翁主之白頭翁湯

方白頭翁

三兩原本  
作二兩

黃連

三兩

黃芩

三兩秦皮三兩

右四味以水七升煮

取二升去滓溫服一升

熱利ト云ハ内ニ熱アリテ水ヲ逐フテ利トナラムナリ  
渴スルハ熱氣セマリテ水ヲ動スルナリ熱ニテ氣ヲ逐テ  
下利スルヨリ利ト書ナリ氣メグラバシテ水下降スルハ  
下利ト書ク是仲景ノ妙文ナリ熱劇シク血ヲ逐モ  
人ハ加甘草阿膠湯主之又熱利ト書シ六腑門ア  
便ノ通スルトキニ熱ヲ覺エルナリ下重トハ淺々行ク  
フナリ此湯黃芩ナクシテ黃連アリ利スルモノニ  
黃芩十キハイカント云ト本論中ニ下利欲飲水者  
以有熱也トアルヲ以テ微スレハ心煩主症ニシテ熱利  
スルモノナレハナリ黃連ハ氣鬱シテ不伸ヨリ心煩  
アリ劇症ニ至テハ吐スルモノナリ黃芩ハ心下痞シテ氣  
下ヘタグラズシテ水下降スルナリ然ハ上下ノ違アリ黃  
連ハカリナルハ熱ノ為ニ逐レテ利スル所ニシテ氣メグラ  
バシテ水下降スルニアラザルナリ方意ヲ察スベキナリ  
○下利後更煩按之心下濡者為虛煩也

梔子豉湯主之梔子豉湯方梔子四枚  
香豉四合右二味以水四升先煮梔子  
得二升半內豉煮取一升半去滓分

二服溫進一服得吐則止

此章ハ下利主症ニアラス下利止テ後ニ煩アルナリ施子豉湯ノ主治ハ下剤吐剤發汗ノ變ニテ煩スルモ故ニ水血ノ變ナク唯氣ハカリノ變ナリ自然ニ出ル病ニハ氣バカリノモノナレ氣血ノ變ハ是非凡ニアルナリ下剤吐剤ノ變ナレ故ニ水血内ニ凝滯セサルヨリ心下ハ濡弱す下利止テ後内ノ穀氣ヲ失ヒシ故ニ煩スルモノナリヨリ更字ヲオキシナリ此氣ハカリノ變ヲ示セシナリ

煩モ甘草ノ主治スル所ハ氣逆シテ心煩スルナリ黃連ハ氣暢ルトアタハサルヨリ心煩スルナリ梔子ハ吐下發汗ニヨリテ内ノ物ツキ唯氣ノミセマリテ心煩スルモノト知ルギナリ

○下利清穀裏寒外熱汗出而厥者通脉四逆湯主之通脉四逆湯方附子一枚乾薑三兩甘草二兩右三味以水三升煮取一升二合去滓分溫再服

本論中ニハ下利清穀ニ四逆湯ヲ服セシメタルニ此ノ所ハ通脉四逆湯ヲ用タルハイカトニ彼ハ傷寒論ノ表記アル處ヲ医下之續得下利清穀ナリ是病ノ自然ニアラズ誤治ニヨツテナリシ病ナレハ四逆湯ヲ用ナリ此章ハ自然ノ症

故ニ一等ノ劇症ナリ裏ニテ閉ルト 創ニヨリ下利清穀ス  
ルナリ裏ヘ氣メグラズ氣セマリテ外行スル故ニ裏寒、外熱ス  
ルナリ寒ハ清穀ニ對スル辟ナリ氣ノセマリツヨキ故ニ汗出  
テ、冷ニ至レバ血氣共ニ閉キル故ニ血色ヲ失すリ厥ハ上ヘテ  
テナスモノ故ニ氣ノ通ノ通ノ意アルモノナリ逆冷ハ氣ヤリ  
逆スルモノナリ厥ハ外行ノ氣閉ラル、意アル故ニ上ヘ  
セマリツクナリセマリ極レバ必外行スルモノニノ微熱身  
熱ヲアラハスモノナリ然レ氏施子ノ身熱トハ異ナルナリ外  
襲ノ症ハ外ヨリ内ヘセマルモノ故ニ微熱ト云モノハナキナリ  
○通脉四逆湯ノ下利清穀ト云モノハ穀化セズニテ其  
マ、下ルナ、此氣逆シテメグラズナリ然レ氏外ヘセマリテハ

銳熱スルナリ

○氣利訶梨勒散主之

此方ハ南涯先生存疑ノ方ナリ 佛經ニ三十九年ノ頭  
痛ヲ訶子ニテ治セシトアリ然ハ心ツカニテシテ氣彫  
シテ利スルモノナトニ効アルベキカ 訶梨勒ハ訶子ナリ

○千金翼小承氣湯 治大便不通噦

數讖語者

此方ハ嚥カ主ニアルナリ氣胸膈ヘセマル故ニ水モ同クセマリ  
テ腹中ニハ水ツキテ不大便トル不大便ノ症ヲアラハス

位ニ氣ノセマリツヨキトキニ讖語ス此湯ハ嘔ラ主ニシテ腹  
中ノ水ノ上攻ヲ示セシナリ傷寒論金匱要略中ヲ歷觀  
スルニ小承氣湯ノ症ハ小便頻數カ嘔スルカ汙出ル力  
等ノ症多キナリ

○水上ヘセマル故ニ内ニ水氣ナク大便不通ナリ水セマル故ニ  
嘔スルナリ水ツキル故ニ讖語スルナリ

○外臺黃芩湯 治乾嘔下利者 黃芩  
人蔘 乾薑各三兩 桂枝一兩 大枣  
十二枚 半夏半升 右六味以水七升

### 煮取三升分溫三服

此章ハ吉益家ニハ六物黃芩湯ト稱ス上ヘセマリツ  
ヨキ症故ニ乾嘔アルナリ氣ノセマリツヨキニ羊テ血氣モ  
セマル故ニ人蔘圭支アリ上ヘセマリツキタルテ示シテ大  
枣アリ傷寒論中ノ黃芩湯ハ上ヘセマリ羊テ血ヲ窶  
ルヲ貫キ行ニトスル意味アル故ニ腹痛アリ此湯ハ乾姜  
人蔘圭支半夏アル故ニ劇症ニ至リテハ心下痞鞭レ嘔吐モ  
アルナリ痢疾ニヨク効アル方ナリ上ヘ氣セマリツヨキハ必定  
冷ル症アリ乾嘔ノ一等劇症ニ至リ吐不止者ハ大柴  
胡湯ヲ與ベシ下利シテ時々腹痛スルモノ圭支加芍  
藥湯ニ宜シ初發ノ痢疾ニハ多ク紫因宣キモノナリ

瘡癰腸癰浸淫病脉證並治第十八

○諸浮數脉應當發熱而反湧淅惡寒若有痛處當發其癰

○師曰諸癰腫欲知有膿無膿以手掩

腫上熱者為有膿不熱者為無膿

瘡癰トハ金瘡ヨリシテ漸ニニ膿ヲ催セシナリ腸癰

ハ腸中ニ癰アリテ病変ラズ古康洞翁ノ曰肺癰

腸癰ノ類ハ名ヲ假ルノミ吐膿下膿カ又神闕ヨリ  
膿出ルニ及シテ知ルノミ腹中ニアルモノヲ肺ニアルヤラ腸  
ニアルヤラ知ルベカラズ上部ニアレハ膿ヲ吐シ下部ニアル  
便膿スルナリ又神闕ヨリ膿ノ出ルモ唯証ニ隨テ  
治之ノミ腸癰ト云ヘ凡最初ヨリ膿血ハ下ラス此症  
血塊ト病氣トニ疑似スルモノナリ病氣ハコレラ按セハ  
雷鳴シ又卒急アリ腸癰ハ卒急少ナリ按之如淋  
ナリ疝氣ハ卒急シテ腰ニツルナリ血塊ハ皮ト離レテ  
凝物ヨク分ルナリ按之ニ多動氣アレナリ按之凝滯  
シテ塊アリ應乎シテ皮肉ト連リテ分界十キモノナリ  
腸癰ハ按之如淋痛モノハ少腹腫痞ナリ腸癰腹  
部ニアルモノハ凝ル所ノモノ痛テ手近クベカラズ本文ノ

如ク身甲錯アリ腹皮急按之濡如腫状無積聚ナト  
云ヤウニハナキモノナリ疾一等深ク腸中ニ癌ヲ生セハ手ニ  
應セザルモノモアルベキカナレモ多実事ニ逢ヒ病人ニ  
對シテ診察スルニ皆形アリテ痛モノナリ然レ氏數月ヲ  
經テ後ニ膿血出ルモノナリ血ヨリテメクラヌ故ニ身甲錯  
トナルナリ

諸浮數ノ脉アレバ必發熱スルナリ發熱セズシテ反洒漸惡  
寒スルハ内ヨリセマリ出テ血凝滯スル微ナリ多浮數ノ  
脉アレバ諸腫物トモニ身熱ナシアルモノナリ其氣セマリ  
ツヨキトキハ發熱モアルナリ總テ癌痕ノ類ニテモ皆氣ハ  
循環セントスレ氏血凝滯シテ漸ニ膿ヲ催スモノ故ニ氣  
ノ通ニアシク洒漸惡寒刺シキモノナリ又宿食耶熱ニ

疑似ス能辨別スベシ腹中ニ癌ヲ生セントスレバ心ヲ衝  
テ嘔アルモノナリ

○腫レ所ニ動脉瓦处ハ針ヲサスベカラズ腐葉ヲ用ベカラズ  
失榮ハ脾モ内ヘ腫レテ食道ニカルナリ咽ノワキヘ出レ六  
治ニ難シ最初ハ小サク漸ニ大ニアルナリ始ニ治スギ  
ナリ

○腸癰之為病其身甲錯腹皮急按之

濡如腫状腹無積聚身無熱此為腸  
内有癰薏苡附子敗醬散主之薏苡

附子敗醬散方 薏苡仁 十分 附子二分

敗醬五分 右三味杵爲末取方寸匕以

水二升煎減半頓服

此章前ニモ云如ク積聚ナキト云ハ極深劇者ハ然ル  
カタクハチニ應スルモノアリテ痛テ身甲錯スルモノナリ  
氣セアリテ血ハ凝リ膿ニナリメクリアシキ故ナリ氣セマ  
リ一等劇シキハ腫状アルモノナリ最初ハ塊アリテ  
若表ヘ破レ出ルトキハ大ニ瘡ロヲ開カス小サク開キ  
冰酒ノマウル膿出ルモノナリ能ニ意テ用テ疑似ノ  
醫ノ名アリ

症ヲ辨シテ治スベシ又恥膚甲錯スルカ鶩掌風ナ  
トノ如キ病ニモヨク應スルモノナリ敗醬ハラトコナメト  
号シ白花ノモノ宣ナリ其根ハ至テ臭キモノ故ニ敗  
醫ノ名アリ

○腸癰者少腹腫痞按之如淋小便自調

時、發熱自汗出復惡寒其脉遲緊者

膿未成可下之大黃牡丹皮湯主之大

當有血脉洪數者膿已成不可下也

黃牡丹皮湯方 大黃 四兩

牡丹 一兩

桃仁五十個

千金作一升

瓜子半升

千金作二兩

芒硝三合

右五味以水六升煮取一升去滓內芒消再煎沸頓服之有膿當下如無膿當

### 下血

此章ハ腹中ニナク脇ヨリ以下ニ癧スルモノノナリ高クアラハテアリ故ニ腫痞トヤキシナリ淋ナレバ小便自調セズ今自調スルモノハ腸瘻タルト明シ今世俗淋病ト号スルモノニタス此湯効アリ小便道へ瘻ヲ生レ其膿通セ

トシテ不通故ニ痛ナリ其膿通スレバ痛愈ルモノナリ淋トノ別ハ小便アマリ頻數ニテハナク唯膿出ルトキ痛劇シキナリヨク此湯應スルモノナリ淋病ハ血氣ノ變ナル故ニサ腹スナリ小便頻數ニシテ多ク不通痛ナリ猪苓湯十トヨク効アルモノナリ血ヨリ内ヨリセマレモノ故ニ發熱シ自汗出テ復惡寒斯是氣セマリ血ユル故ナリ惡寒ハ血滯ノ徵ナリ表症ハ發熱汗出六惡寒ナク惡寒アレハ發熱汗出ノ症ナキモノナリ本論中ヲ歷觀シテ知ルベキナリ。瓜子ハヨク鼓脹ヲ治スルモノナリ此ハ水ヲサバク故ナリカモウリノトナリ。鼓脹ニテ青筋アラハルモノ大黃牡丹皮湯ニ宜シ血分ニカ、ル故ニ大承气湯十トハ宜シカラズ緩緩ト大黃牡丹皮湯ニ

攻ムベキナリ 他ノ紫圓ノ如キモノヲ兼用セス唯素方  
ニテ一年モ一年余モ用フレハ自然トナルモノナリト氣ヲ  
イラチ急ニセドシテ治セサルモノナリト語ラレタリ  
牡丹皮ハ血ノコルモノヲ治ス故ニ少腹腫痞ト云桂枝茯苓  
丸八味丸ニモ皆指ス所アツク肩有癥病ト云小腹拘急  
ナト云テ少腹ニコル所アルヲ治スルノ能アリ  
腸瘻ノ元ヨリ蛻虫又ハ糞ノ出レフアリ寒熱ノ變アルモノ  
ナリ

○排膿散方 枳實 十六枚

村井云六分当作三兩  
二分当作一兩

桔梗二分

右二味杵爲散取雞子黃

一枚以藥散與雞黃相等揉和令相得  
飲服和服之日 一服

○排膿湯方 芡草 二兩 桔梗 三兩

生薑一兩 大枣 十枚右四味以水三升  
煮取一升溫服五合日再服

此ニ章方有テ詎ヲ闇ク主治ヲ考ルニ枳實 茄葉ア  
ルヲ以テ効ラ云バ 排膿散ハ下部ノ腫物ニヨク應ス

便毒下疳ノ類ニテ痛劇シク心下ニ衝テサシコムモノニ  
効アリ排膿湯ハ上部ノ瘻痘、登背瘻ノ類ニヨク効アリ  
膿血ヲ吐スル肺瘻ト号スルモノナトニ効アリ伯列散ヲ兼  
用スベシ肺瘻ナト下ヨリセマリタルモノヲハヨク排膿散  
ハ治スルナリ心下ヨリ上ハ桔梗湯ニ宣シ

○毒凝テ動カサルモノハ葛根加朮附湯、膿アルモノハ  
加吉更葛根ノ分量ニスヘニ膿多キトキハ伯列散又  
排膿湯兼用○癰瘻上ナルモノハ排膿湯下ナルモノハ  
排膿散○皮膚甲錯多キモノハ薏苡附子敗醬散  
○臀瘻ト号スルモノハ桂枝加葛根湯兼梅肉散又云便  
毒ノ類大黃牡丹皮湯ヨク應スルモノナリ朝陽有聞  
云下部ニ在テ其毒深キモノ大黃牡丹皮湯ニ宣シ

### ○浸淫瘡黃連粉主之

浸淫瘡モ黃連粉ハ南涯先生ハ未試ナリ葛根加大  
黃湯ニ兼梅肉散シテ効アリ

趺蹶手指臂腫轉筋陰狐疝蛇

蟲病脉證治第十九

### ○師曰病趺蹶云云

○轉筋之為病其人臂脚直脉上下行

微弦轉筋入腹者雞屎白散主之

○陰狐疝氣者偏有大小時時上下蜘蛛

### 蜘蛛主之

趺蹶トハ前へ進シテ郤クアタハサル病ナリ圭支加朮湯ヨク應ス手指臂腫ルトテ骨節ニテ腫レ痛モノ今ヨクアル病ナリ血ハレニナリ血色ヲ失ハザルモノ當飯運湯ナド宣シ癌ニヨリテ走馬湯ヨク應スルモノナリ痛風ニテ歷節風ナドノ如ク所ニアルキテ痛劇ニ至テハ屈伸轉側ナリカタキモノニ走馬湯ヨク應スルモノナリ

又手指臂腫モ同クフシブシニテ腫痛ニ血色アリ赤色ヲ帶ルモノハ當飯四逆湯宣シ色シラケテ痛ハ朮附剤宣シ又木メキツヨクセマリツヨキハ石膏剤ニ宣シ大青竜湯十ト應スル一アリ陰狐疝ナドハ圭支加朮附湯ニ兼平水丸宣シ少腹ニ永タマリ陰狐疝ノ如キモノニ八味丸ヨク應スルモノナリ轉筋ハ烏頭湯ニ平水丸兼用シテ宣シ小水不通ノ症アレハ八味丸宣キアリ打撲ヲ治スルニカンボクヲ用テ効アリト講席ニ聞シアリ

○蛇蟲之為病令人吐涎心痛發作有時毒藥不止者甘草粉蜜湯主之

甘草 粉蜜湯方 甘草 二兩 粉一兩 蜜四  
兩

右三味以水三升先煮甘草取二升去  
滓 内粉蜜搅令和煎如薄粥溫服  
一升差即止

○耽厥者當吐耽〔全病者靜而復時煩  
此為藏寒耽上入膈故煩〕須臾復止

得食而嘔又煩者耽聞食臭出其人  
當吐耽烏梅丸主之

耽叟ノ病ハ腹中痛其脉當沈若弦反洪大ト瓦ナレ氏  
脉道ヲ閑テ沈ニナルモアリ内ニセアリツヨクナレト洪大ニ  
ナルトアリ化病症ハセマリツヨクシテ心痛ニ及ト涎沫ヲ  
吐スルナリ粉ノト諸家紛々タル說アッテ決定セズ南涯  
先生ハ胡粉ヲ用テ効アリトノトナリ其祐ハ外臺秘要ニ  
張文仲ガ寸白虫ヲ治スルニ胡粉ヲ用名トアリ申是  
耽叟ニテ吐涎心痛ノモノニヨク胡粉ヲ用テ効アリ古書  
ニモ粉ヲ以テ壁ヲヌルトアレラ以テ微トスベシ耽虫ハ小兒ナトニ

多アルモノナリ足ヒヨヒニヨヒトヨロメキ又足  
痠弱ナル  
症ニタクアルモノナリ能心ヲ用テ診察スベシ如此ノ症ハ鷦  
胡茱萸湯宣シ若虫下ラヌキハ加芒消ニテヨク下ルモノナリ  
耽嗽ノ症ニハ口中ニツハキタクタルモノナリ必腹中ニ  
蚯蚓ノ如キモノカ处ニニ凸クナリテアルモノナリ按之其ハ  
カクレタリ又カタヨルトアルモノナリ必發作シタルトキハ  
劇シク忽然トシテ休スルモノナリ

### 婦人妊娠病脉證並治第二十

○婦人宿有癥病經斷未及三月而得漏  
下不止胎動在臍上者為癥痼害妊娠  
六月動者前三月經水利時胎也下血  
者後斷三月衃也所以血不止者其癥  
不去故也當下其癥桂枝茯苓丸主之

桂枝茯苓丸 方 桂枝茯苓 牡丹皮

桃仁 芳藥 各等分

右五味末之煉蜜

和丸如兔屎大毎日食前服一丸不知加

三丸

久婦人ノ妊娠ハ病ニアラス人間ノ常ナリ然ルヲ養胎  
ノ菜ナドトテ無妄ノ菜ヲ服スルトイカ、ナリ産婦ノ  
モノ胞阻子瘤ト号スルモノハ常ニ持病ニアル所ヲ懷妊シテ  
其疾ノ動キタルナリ其地ニ隨テ服某スベシ譬へ人老衰ニ

及ニテ或ハ耳聾シ目睛不了了ミノアリ是耳ヤ目ノ  
所ニ毒アルモノ年老血氣ノ衰耗ニヨツテイロイロノ病ニ  
困苦スルナリ病毒十キモノハ八九十歳ト云ヘ耳目  
手足ニカバリナシ產婦モ其本曰疾妊娠ニヨツテ動ナリ  
又毒菜ハ服セヌト云モイカ、ナリ妊娠中墮胎ノ菜ヲ  
服スルニ三月マテハ下ルモノナレモ四五月至リテハ下ヌモノ  
アリヤシテ其病アリテ其隨詫ノ菜ヲ服ス何ノサゲ  
アエニヤ素問有故無損ト云ヲ微トスベニ或ハ下剤ヲ  
服セニ因テ半產スルトアレ氏夫ハ胎ヲ墮セニハ  
アラムト半產セントスルモノナラン實事ニ試テ紫田  
平水丸ノ類ノ攻擊剤ヲ用ルニ十二八九損アリシラ  
見ズ然ハ墮胎ノ間アルハ天命ノ然ラシムル所ナリ

然レ氏妊娠ハ意ヲ留テ診察シテ利ラ處スベシ忽諸ス  
ベカラズ初章ハ證審ナラズ故ニトゞ、唯隨症テ方ヲ與ベシ  
此章ハ癥病ニヨツテ妊娠ヲ害スレヲ云ナリモト胎ヲ脇  
下ニ受ルモノカ脇下ノ辺ニハ癥痼アリテ脇上ニアル故ニ桂枝  
茯苓丸ヲ用ルナリ苓桂朮甘湯ノ症ニシテ血塊アリ衝  
逆スルモノニ効アリ桃仁ハ動ク血ヲ治シ牡丹ハ凝リテ形  
象アル血ヲ治スルナリ

○婦人懷妊六七月脉弦發熱其胎愈  
張腹痛惡寒者少腹如扇所以然者子

藏闊故也當以附子湯溫其藏

此ノ附子ハ傷寒論中ノ方ヲ可用凡附子ノ志ハ初登ニハ  
氣ヲ閉テ脉沈ニナルモノナリ然ルヲ内ヨリセマリツヨクナ  
レト脉弦ニナルナリ弦ニナレハ發熱モスルナリ發熱スルヤウニセマ  
ト腹痛モスルナリ表ヘハ發熱スルヤウニセマレバゼヒ血室レ  
ナリ故惡寒スルナリ是芍藥人參ノ主治スル所す  
真武湯ハ氣メクラズシテ水滯ルナリ此湯トノ違ハ人參  
ノ生姜ニカヘニナリ分量ノ出入アレ氏アマリノタカヒ十三附  
子湯ノ方意ハ血氣欲伸不能伸シテ腹痛惡寒手  
足寒アリ溫其藏ノ字溫ノ字ニカヘリ附子ハ溫補ノ  
劑ト思ナリ毒去リ氣メクレバ溫ヲ生スルナリ少腹如扇

ノ掌形ニ見レハ如扇状トカクナリ 如扇トカキシハアヲグト云  
ナリ 脱動ニ類スル形ナリ 此湯ハ元ハ通ニナガラ 痛ナア  
ル故ニ人參アリ 故發熱アルナリ

○師曰婦人有漏下者 有半產後因續  
下血都不絕者 有妊娠下血者 假令妊  
娠腹中痛為胞阻 膜艾湯主之 艾  
帰膠艾湯方 芎藴 阿膠 甘草 各二  
兩

艾葉 當帰 各三兩 芍藥 四兩 乾地

黃六兩 右七味以水五升清酒三升合煮  
取三升去滓內膠令消盡溫服一升  
日三服不差更服

此湯ノ漏下ハ產婦ノ經水上ルベキモノカ漏下スルす其  
外都テ下血ノモノニヨシ氣セマルモノトハ異ナリ氣セマル  
モノハ必ス吐血衄血スルナリ 三黃泻心湯十トモ心氣不定  
トテ元セマルニシケテ血モセアリ 吐血衄血スルナリ 小建中

湯ハ腹中急痛トテセマルナリ一等劇症ニナリテ心中悸而煩ス又一等重クシテ悸衄スルナリ當歸芍藥散ハ上ヘセマルナリ然レ氏急逆ト云ホドノコナシ唯自然ニウ子ケルヤウニ痛タリ又胸ヘコリ肩ヘコリ背ヘコリ刺カ如クニ痛ナリ其痛難堪ヤウニ痛ナリ此湯ハ氣ノメグリアシクシテ血ヲメクリスホドノ氣力ナクシテ血タマリテ下血スルナリ氣ハメクリス無ハタル故ニ腹痛アリ痔疾ナトノ走リ血ニ下リアマリ血色不失モノナトニ用テ可ナリ此湯ハ氣メクリス血溜レトキハタマリタル所ニ動ナリ此茯苓ノ主治ナリ水血タマリタル所ヲサバクハ沢泻ノ主治スル所ナリ○此湯ハ上ヨリ下ル血ナリ下血シテ腹痛スルモノニ用是下エトスル血タミルカラ腹痛スルナリ乃乾地黃ノ主治スル

○婦人懷妊腹中疼痛當歸芍藥散主之

當歸芍藥散方當歸三兩芍藥一斤茯

苓四兩术四兩沢瀉半斤芍藥半斤

右六味杵為散取方寸匕酒和日三服

此湯ハ氣セマリ血室シテ不能循環者ヲ治ス故疼痛スルナリ枳實芍藥散ハ水氣血分ニヨツテ煩滿セシムナリ

當飯四逆湯ハ腹痛スルモノ外ヨリ閑ル故ニ腹ノ皮スナ引  
ツルナリ此湯ハ腹ヨリ起ル故ニ腰ニ引ス足ニ引サルナリ當  
飯建中湯ハ下ヨリ起テセマル故ニ痛ハ腰ニ引テ痛也  
○當飯芍藥散ハ上ヘ上ヘト迫リ刺痛スルヲ治ス血滯ル  
故ニ腹中ヲメグリ痛刺痛背痛肩ヘサシテ痛ヲ治ス  
腰ヘヒキツリ足ヘヒツハリ痛ハ當飯建中湯ナリ

○妊娠嘔吐不止乾薑人参半夏丸主之  
乾姜人參半夏復丸方 千姜人參各一兩  
半夏二兩 右三味末之以生薑汁糊為丸

### 如梧子大飲服十九日三服

此湯ハ妊娠ニカキラザレ氏妊娠ハ血症多キモノ故ニ妊娠ニ  
字ヲ冒首セシナリ血分ニ變アリテ痞鞕ナドアリ嘔吐ノモノニ  
宣シ世ノ肝積ト号シ食氣ヲ惡テ他ノモノヲ食スルモノ  
ナドニ宣ナリ○血分ノ滯リヨリ嘔吐スルモノニ宣シ不止ミ  
血分ノセリツヨキナリ嘔吐半夏ノ主治スル所ナリ血分ヲサバク  
モノハ入參ナリ人參ノ吐ハ極意ノ症ニナバ心下痞鞕ナシ  
イカントエト血ノセマリツヨク痞鞕スベキモノ胸中ニセマルガ故  
ナリ氣ノセマリツヨク血ヲ持テ上ルハ建中湯小建中湯  
ハ氣ノセマリ甚シキモノナリソレニヨリ悸シテ煩シホ悸シテ衄  
立スルニ至ルナリ

○妊娠有水氣身重小便不利酒漸惡寒起即頭眩葵子茯苓散主之葵子茯苓散方葵子一升 茯苓三兩

右二味杵為散飲服方守七日三服小

便利則愈

妊娠ニテ足腫レテ水氣アル症ニ宣シトカク足浮腫スルモノナリ 氣逆ニル 故ニ頭眩身重スルナリ 茯

苓ノ主治スル所ナリ 當飯芍藥ト合ニアハ葵子八分ノ麥ヨリ惡寒スル症ニ効アリ 然レ氏南涯先生ハ未試ノ方ノヨシ語ラレタリ 以下 証ナク 唯妊娠宜常服ト云モ人ハ無妄ノ藥ニ似タリ 養胎ト云モイヤニ病ナク葵ヲ用ベキヤ 利法ハ我ガアツヤラサル所 故ニコレヲ辨セサレナリ 經絡家ニハアレベキナリ

婦人產後病脉証治第二十一

○問曰新產婦人有三病云々

大便堅嘔不能食小柴胡湯主之

此章ハ婦人產後ノ病ヲ舉クルナリ 產後ニ多亡血スルモノ故ニ虛脫ト心得テ參附剤ヲ用ルハアニキナリ 亡血六妊娠中タマリタル血去ルナリ 更ニ虛ニアラズ 仍未尽ハ諸證轉変ス然レバ 脫血ノ症アリ 脳意ヲ留テ診察ヲ忽諸スベカラニ其詎ニ隨テ峻葉ト雖氏用矣ハアルベカラニ武夫ノ矢石ヲ恐レ避ザルガ如シ 医タルモノ 峻葉ヲ 沈レテハ沈疴ハ治スルトアタハズ 產後ノ危篤ノ疾ハ早ク除カザル矣必斃ルモノナリ 此湯ノ症ハ是上ニ水滯リテ氣下ヘメグラザルナリ 嘔而發熱者 小柴胡湯ナリ 热内ニ充實メ 嘔不能食大便堅亢ルハアザルナリ ヨク辨別シテ處剤スヘキナリ 陽明病 疱潮熱 大便溏小便自利胸腹滿不去者与小柴胡湯又 陽明病 腹下鞕滿不大便ル理ラサトルベシ 是疾 医家ノ專トスル所ナリ

○病解能食七八日更發熱者此為冒  
實大承氣湯主之

前章ヲ服シテ嘔不能食ノ症ハ愈 若能食シタレバ更  
發熱スルモノハ内ヨリセマルナリ 頭痛發熱惡寒ノ症アヒ

表症ナリ 嘔而發熱者 小柴胡湯ナリ 此發熱傷寒論ノ  
例ヲ以テ推セハ 調胃承氣湯ヲ處スベキナリ 此湯ハ 甘草  
主ニシテ逆シテ 氣セマルナリ 水不滯 血不凝 故譏語心煩  
蒸蒸發熱皆 氣逆シテセマルナリ 大承氣湯ハ水故ニ氣  
セマルノ症ナレバ ゼヒ水氣ノ變アリ 潮熱身重短氣腹  
滿而喘スナトヨ 微トス桃仁承氣湯ハ血症ニシテ如狂少腹  
急結スルカ又心下按之痛辛不可近十ド、テ此ヲ三承氣  
湯ト号シ 氣血水ノ三方ナリ 大小調胃ヲ三承氣ト云ヘ  
大小八分量ノ多少ニシテ共ニ水氣ノ變ナリ 桃仁承氣調  
冒承氣大承氣ヲ吉益ノ家テハ三承氣ト云ナリ

○產後腹中病痛當帰生姜羊肉湯主

之

此章ノ羊肉今難得ナリ 當取芍藥散ヲ用テ如此ノ  
病訖ハ治スルニヨリ 難得ラハ求メサルナリ

○產後腹痛煩滿不得臥枳實芍藥散

主之枳實芍藥散方 枳實芍藥等分

右二味杵為散服方寸匕日三服

此章ハ水。氣ラ閉テ不能伸モラ治ス水。氣ラ閉ル故  
ニ煩滿スルナリ 不得卧ハ氣ノセアリ 劍シキナリ 煩ト云モノ

気伸ニトスレモ伸ルトアタハズシテスルナリ満ハ水ノナス所  
ニシテ枳實ノサク所ナリ氣セマレバ血氣モセマレ故ニ腹痛  
スルナリ論中腹痛ト云ハ上カハニテ腹中ト云モノ内ニ  
シテ深キト知ルベキナリ此湯排膿ノ剤ニモ活用スギナリ

○師曰產婦腹痛法當以枳實芍藥散  
假令不愈者此為腹中有乾血著臍  
下宜下瘀血湯亦主經水不利下瘀血  
湯方大黃二兩桃仁二十枚䗪虫三十枚

右三味末之煉蜜和為四丸以酒一升煎一  
丸取八合頓服之新血下如豚肝

此章唯產後腹痛トバカリアリテハ處方シガタシ然氏乾  
血有テ腑下ニ著ストアルヲ以テ見レバ下瘀血ノ行所ナリ  
仲景ノ論辨スル所瘀血乾血經閉ト血瘀ノ別アリ  
瘀血ト云モノハ如狂少腹鞭滿喜忘大便易其色必  
黑等ノ症ラ云ナリ乾血ハ少腹不鞭不滿唯身體  
枯瘦腑下痛モノナリ經閉ト云モノハ經水通セント欲  
シテ不通故ニ少腹滿而不硬唯身體肥滿スルモノヲ  
云ナリ

○產後七八日無太陽證少腹堅痛此惡露不盡不大便煩躁發熱切脉微實再發熱日晡時煩躁者不食食則讖語至夜即愈宜大承氣湯

此章ノ病証ノ如キハ桃仁承氣湯ノ主治スル所ナリ  
金匱要略中ニハ桃仁承氣湯調胃承氣湯ヲ更  
スベキ所ハ皆大承氣湯主之トアルナリ煩躁ヨリ至  
夜即愈ハ其文甚疎陋ミシテ句ヲナサズ大承氣湯ノ

主治ナルギカアマリ拙文ナリヨリ刪ルギナリ惡露不盡少  
腹堅痛ハ桃仁承氣湯ヨク應スルナリ血少腹ニ滯リ氣  
不伸ナリ煩躁發熱脉微實日晡時發熱煩躁者今  
發熱ノ下ニ日晡ノ字アリテハ文ヲナサス上ニナクテ文章ノ  
法ニアラス日晡時煩躁ノ頤闊ノ二字下地ヨリアルナリ爰  
ニオキシ六食則讖語ト讖語ヲイハシガ為ニ設ナタリト覺  
ヘタリ傷寒論中ニハカレ拙文ハナキナリ

○產後中風續之數十日不解頭微  
痛惡寒時ニ有熱心下悶乾嘔汙出

雖久陽旦續在耳可與桂枝湯

續之  
續下續當  
作之

續續ノ字得之ニ作レベキナリ外ヨリ襲ノ氣アルニヨリ  
發熱汗出ス時ニ有熱ナリ發熱汗出ノ症ヲサザヘバ  
心下悶乾嘔モサハケルナリ頭微痛惡寒ハ主ナリ心下悶  
乾嘔汗出ハ客ナリ凡テ桂枝湯ノ症ト云モノハトカク裏ニ  
及モノナリ是血分ノ薬ナレバナリ其氣上衝ト云心中  
悸而煩ト云悸衄ト云皆裏ニ早ク及フモノナリ煩悶乾嘔  
ハ上衝ノカルキナリ水ハ表ヨリ直ニ裏ニ及フコハキナリ  
故ニ喘而胸滿ナト云テ直ニ腹中ヘハイラヌナリ桂枝湯ハ  
表ヘセマラニハ直ニ裏症ヲアラハスモノナリ血症ハトカク氣ヲ  
閉ルモノ故ニ痞鞭ニナリ疼痛ニナルナリ水ハ氣ヲ閉  
テモ氣ハノル故ニ十枣湯ニモ頭痛心下痞鞭滿又小柴  
胡湯ニモ頸項強ナトニテ知レベキナリ枳實芍藥散ニモ煩滿  
ナドトテ水氣ノ閉テモ伸ル氣ハアルナリ原本ニハ陽旦  
湯ニ作ル今改メテ多キニ從フ次ノ二章ハ先人ヨリ試ヤル所  
ナルニヨリコレヲ辨セス

○產後下利虛極白頭翁加甘草阿膠湯方

甘草阿膠各二兩秦皮黃連蘚皮

各三兩右六味以水七升煮取二升半

内膠令消尽分溫三服

産後ノ二字拘泥スベカラズ唯下利シテ欲飲水或下血  
シ又心煩不得眠モノニ効アルナリ イヅレ白頭翁湯ノ  
症ニシテ心煩不得眠モノヲ主治ス阿膠ハ血痣ヲ治  
スルモノナリ 故下血シテ心煩不得眠モノニ効アリ

○千金三物黃芩湯治婦人在草蓐自

發露得風四肢苦煩熱頭痛者與小柴  
胡湯頭不痛但煩者此湯主之黃芩

一兩苦參 二兩乾地黃 四兩右三味以水

六升煮取二升溫服

此湯ハ脫血シテ煩熱ノモノニ効アリイカント十六婦人在  
草蓐ト云フハ多モ血セシヲ示セシナリトカク衄血嗌  
ノ後煩熱シテ手足ノ心熱シ又腎虛勞疫ト云モノ血ゲ  
クナリテ氣ノミセマリ 微數細數十トヲアラハシ又手ノ掌  
中アツクルシク 冷ナルモノヲ握リ タキト云詎ニヨク効アリ  
同シ煩熱ニテモ小柴胡湯ハ外襲ニヨリ水 上ニ滯リテ  
氣セタルす然レ毛水ト云モノハ氣通スル心アルニヨリ頭痛  
スルナリ 此湯ハ頭痛十キナリ水カ氣ヲ閉テ氣セマリ

ツニキトキハ必頭痛スルナリ此湯ハ虛脱ノ煩熱ヲ主治  
スルモノト知レベシ

○千金内補當歸建中湯治婦人產後虛羸不足腹中刺痛不止吸吸少氣  
或苦少腹拘急痛引背不能食飲產後一月日得服四五劑為善令人強壯

當歸四兩桂枝三兩芍藥六兩生姜

三兩甘草二兩大棗十二枚

右六味以水一斗煮取三升分溫三服

此方千金方内補ノ部ニアルヨリ内補トカキニテ  
婦人產後虛羸不足ノ字ニカハルベカラス當歸ト云モノ  
血滯テ氣不能伸モノヲ治スルモノナリ此湯ハ小建  
中湯トハ別ナリ小建中湯ハセマルモノナリ此湯ハヒ  
キツルガ主ニカナリサ腹拘急シ又腰ニ引テ痛婦人  
ナトノ足ガツルト云テ筋ノヒツハリ腰ニツルモノニヨク  
應スルモノナリ

婦人雜病脉證並治第二十二

○婦人中風七八日續得寒熱發作有時經水適斷此為熱入血室其血必結故使如瘡狀發作有時小柴胡湯主之

此章傷寒論中ニアリ然凡此處ニ置ベシ中風ノ症テ七八日モ不愈ナリ外襲八往来寒熱シテ休止ナシ今此章ハ發作ニ有時ナリ是血室ニ滯リツギシナリ柴胡湯ヲ服セシムレバ余症ハ悉ク愈ルナリ

○經水適斷スルモノハ客症ナリ此熱ニ由テシカラニルナリ血室トハ血ノタクアル處ト心得テヨシ子宮ト互ハアシキナリ

○婦人咽中如有炙鬚半夏厚朴湯主之  
半夏厚朴湯方半夏一升厚朴三兩

茯苓二兩生姜五兩乾蘆薈二兩

右五味以水七升煮取四升分溫四服  
日三夜一服

傷寒論金匱要略 中ノ例ニテ咽痛ト云ハ血分ノ變ニカル

咽中ト云ハ痰飲ノ變ニカルナリ世ニ云梅核氣ト云モノアリ  
血症ノ變す余症ナク唯梅核ノ如キモノアルハ當飯  
苟菜散ヲ服ニテ能應スルモノナリ若梅核氣ニテ心下  
痞癟力腹中雷鳴ノ症アルモノハ半夏泻心湯十トフ  
服ニテ能效アリ此方ハ唯アブリタル肉ノ如牛モノアリ  
咲モ出入呑トモ不下モノヲ治ス○物ハ聞カザレハ治モナキ  
アタハ先生溝說ノトキ此說話ヲ聞テ其後上毛倉賀  
野須賀庄兵衛母物アリ咽中ニヒキツギタルガ如ク吐テモ  
不出呑メ氏不下ト云高崎ノ啓迪ト云医ノ菜ヲ服ニテ効ナシ下  
云サテバ半夏厚朴湯ヲ與ヘバ治セシトタヤスクウテアイ先  
ノ葉ヲ見レバ乃此方ナリ於是其心大ニ齟齬セリ然氏

先生婦人如此ノモノニハ當苟散ヲ兼用シテモ素方ニ用テモ  
効アリト聞タルヨリ此方ニ枳實人参橘皮ヲ加テ用テ効  
得タルトアリ俗ニ云秘事ハマッゲト云トアリ事実ヲ  
經タルモノ、トキガサレハ唯理窟ニナリテ時ノ明ヌモノナリ

○婦人藏躁喜悲傷欲哭象神靈所作

欠伸甘麥大枣湯主之甘麥大枣  
湯方甘草三兩小麥一升大枣十枚

右三味以水六升煮取三升分溫三服

此湯ハ唯氣ノセマリテ主トスルナリ 藏ハ内ラサス腹内  
ノトナリ 陰中ト云モノアレ凡下ノ條ニハ藏中トアリ  
中ノ字ヲ加テ辨別ス氣ノセマリニシイテ 神靈ノナス所  
ノ如ク見エルナリ 甘草泻心湯ナトニ如此ノ症アリ必  
心下痞鞭雷鳴ナトノ症アリ 劍ニキハ下利アルナリ此  
湯ハ甘草 大枣 主薬タレバ血氣モ共ニセマリナリ水血  
匠ニ凝滯ノ症ハナキナリ ○唯氣人心ニ迫ルモノハ此湯ノ  
主治ナリ 氣セマツテ痛瓦モノハ甘草 泻心湯ナリ

○婦人吐涎沫医反下之心下即痞當先治  
其吐涎沫小青竜湯主之 涕沫止乃治

### 痞瀉心湯主之

此章婦人ノ下ニ欬唾ノ字ヲ脱不見エリ 吐涎沫ガリ  
ナレバ皂莢丸宣シ小青竜湯ヲ以テ外襲ノ氣ヲサバケバ  
痞モイニルナリ愈ザレバ瀉心湯ヲ與ベキナリ

○帶下經水不利少腹滿痛經一月再  
見者土瓜根散主之 土瓜根散方土

瓜根 芳藥

桂枝

廣蟲

各三兩

右四味杵為散服方寸七日三服

帶下ト称スルモノハ通ズギモノ停滯シテ通セズ白物トナ  
リ又代赭石十ドヲ細末トシテ水ニヒタシタル色ニナリ淡紅  
濁色ニナリテ下ルナリ停滯シテ下ラザル故ニ内ニハ氣父  
クレ意アル故ニ満シテ痛ナリ是氣ノ通ハナリ瘀血ハ  
氣ノ通ナク閉キル故ニ鞶滿ハスレヒ痛ハナキナリ經一月  
再見ト云モハ停滯モノ下ルナリ真ノ經水ニアラザリ  
土瓜ハ瓜呂ト似タルモノナリ土瓜ハ小サク瓜呂ハ大ナリ筋  
タキテアリ且苦味ナリ茱萸ニカハリタリハナキナリ

○婦人少腹滿如敦状小便微難而不渴  
生後者此為水與血俱結在血室也大

黃芩遂湯主之大黃芩遂湯方大黃  
四兩芩遂二兩阿膠二兩右三味以水  
三升煮取一升頓服之其血當下

此章ハ水氣血ヲ結ナリ小便難ニ涸竭シテ微難スルハ  
アラス水血ヲ結ナリ敷ハ祭祀ニ用ル器ナリ形ハ儀礼ニ  
瓦形宜シコヘ六股腹ノ方マテ腫ル、ナリ大陷胸湯ノ症  
ナド、同シクノ痛テ手不可近アリ是ハ水血ヲ結ガ故ナ  
水ハカリニテモ痛ハナシ血バカリノ變態ニテモ痛ナシ世ニ小  
便秘閉朝ニ登シサツハリト通セズタニ及ニテ上ヘセマリ甚

シテ六煩躁シテ少腹満如敦状ニナリテニ三日ミテ死スルト  
アリ此薬ヲ服スルト敷貼シテ愈レトアリ能ク参考スベシ  
誠ニ急卒ノ症ナリ

余医事ヲ学チントスルニ家君家事ニサハリ販賣ノ害ト  
立トテエルストナシ京師ニ年々至リ間暇アレバ南涯先生  
ノ講説ヲ聞ク上毛ヨリ皈リ草鞋ヲ脱セントスルニ兄ノ  
妻他ヨリ皈リ他村ニ嫁セシ姉小便閉ニ死セントシ医  
生辞シ去ルト云此ニヨリ直ニ姉ノ許ニ至レバ親族其座ヲ  
圍繞ス姉ハ狂乱ノ如ク煩悶ニ困苦云バヤリナ此が腹ヲ  
按スレハ小腹満脹シテ一所高ク其處大ノ如ク手近ク  
ベカラズ於是大黄甘遂湯五六麦目ニ調シコレヲ進ルト  
二貼其夜四ツ過ルヨリ小便通スルト一合バカリコレニテ少  
トマ、アルモノナリ

八味丸ナトヲ用ルモノハ少腹不仁ニタリ或ハ拘急ナドア  
リテ凸クナリテ小便不通シ日ヲ經テ漸ニニ水塊大キ  
クナリテ上ヘセドリテ倚息スルトアリモトヨリ脱症ニシテ  
煩熱アルモノナリ此水乞ノ変ナズ血分ニカルす此ニヨリ  
血氣循環スレバ自然ニ愈ルナリ此血ニテ水ヲカラシテ不利  
ニナリ不通トナリナリ大黄甘遂湯ノ如ク急劇ニハアラガルナ  
リ。イボタハ大黄甘遂湯ノ類ニテ腹ニ青スギアヌル、

モノニ効アリ。○水ヲ血ヲ結ニテ小便微難セシムモノハ甘遂ノ主治ナリ小便秘閉ニヨツテセアリツヨリナリテ煩躁スナリ

○婦人經水不利下抵當湯主之抵當湯方  
水蛭三十個 蟲蟲三十枚 桃仁二十個 大黃

三兩 右四味為末以水五升煮取三升去滓

溫服一升

此章ハ唯經水不利下ト云處ハカリミテ、處方ニカタシテ  
腹鞭滿喜忘又癥狂ニ少腹堅痛ナドノ症アリテ用ニ  
小腹鞭滿シテ小便不利ハ此湯ノ治ニアラ自利シテ鞭滿  
ノ症ニ用ナリ血凝滯シテ水ニ麦十ヶ六ナリ

○婦人經水閉不利藏堅癖不止中有

乾血下白物礬石丸主之礬石丸方

礬石三分杏仁一分 右二味末之煉蜜

和丸枣核大內藏中劇者再內之

此章ノ藥方ハ陰中ニ入レ、方ナリ此ノ丸方ニ治スルモノ  
六アラニ服薬ハ土瓜根散下瘀血湯又当飯芍藥散下

兼用シテ効アリ医タルモノ臨機應変ヲキベシ守株刻船  
ノ治ラヌトナカソ

○婦人腹中諸疾痛當取芍藥散主之  
○婦人腹中痛小建中湯主之

此章諸疾痛ト總テ云トモ處刺スルニ詳ナラス当芍散ハ  
血滯リ氣ノメクテササルヨリ上リセマレモヲラ治ス其起ル所ハ腹  
ヨリ上ヘセマルす血氣上ヘセマリテモガリカヌルす故肩背  
或ハ胸ニヨリ刺カ如クニ痛ウチグレヤウニクルシク痛ナリ  
若痛ザレハ拘牽ノ症アルナリ小建中湯ハ氣ノセマリガ  
主ニシテ血モ氣ノセマルニツイテ上ルナリ是故ニ劇シケレバ悸  
シテ衄血スルナリ然ハ血客ニシテ氣主トナレナリ

○問曰婦人病飲食如故煩熱不得卧而反  
倚息者何也師曰此名轉胞不得溺也以  
胞系了戾故致此病但利小便則愈宜腎  
氣丸主之

此章ハ血氣不循環ニヨツテ小便不利スルナリ地黃方中  
ニアルニヨリテ煩熱アリ煩熱ハ脫忘ナリ血氣心ヘセマル故ニ

不利スル所ノ水モ隨テ上ル故停息スセズト劇シケハ小便ハ自利スルモノナリ始テ腹不仁シ拘急シ小便不利シ水塊ヲ生シ漸ニニ大ニルモノナリ此湯ヲ服シテ血氣ヲダラセバ自然ニ愈レナリ此ハ血氣主ニシテ小便不利ハ客ナリ

○蛇林子散方溫陰中坐藥蛇林子仁

右一味末之以白粉少許和令相得如蜜大綿裏内之自然溫

此章ノ如牛陰中ノ痒キモノ葛根加大黃湯ニ梅肉散ヲ兼用シテ漸服シテ奏効ス唯婦人陰中痒キモ人ハ洗テモ宜キナリ

○冒氣下泄陰吹而正喧云

南涯先生曰如此ノ症ハ放屁スベキモノガ陰中ヘモレルナリ多ク心下痞鞭シテ雷鳴トドノ症ヨリモナリ半夏泻心湯ニ大黃硝石丸ヲ兼用シテ二人ヲ治セシトアリトノ説詰ナリ

○三物備急丸方 大黃一兩 乾姜一兩 巴

豆二兩 右藥各須精新先擣大黃乾姜為末研已豆內中合治一千杵用為散

蜜和丸亦佳密器中貯之莫令歇氣  
主心腹諸卒暴百病若中惡客忤

心腹脹滿卒痛如錐刺氣急口噤停

尸卒死者以煖水若酒服大豆許三四  
丸或不下捧頭起灌令下咽須臾當差  
如未差更與三丸當腹中鳴即吐下便

若口禁亦須折齒灌之

此方只實二備急方ニテ即刻ニ用ギモノナリ巴豆六粒ノ  
心下ニアリリ血氣ノ運動ヲナサシメザルモノヲ治ス

○鱠食之在心胸間不化吐復不出速下除  
之久成癥病治之方橘皮一兩大黃二兩

朴消二兩石三味以水一大升煮至小  
升頓服即消

吐下ノ剂シ與テ宿食下ニザルモノ 檻皮枳実朴消湯効  
アリ

オ撰時、發作テ痛モノハ黃鍾散ヲ酒服シ以醉度トトま小便道へ血下ルヲアリ又茶店ノカニボクト号スルモノ煎服シテ効アリ

金匱要略講說ハ其家ニ取り用ル方法ノミヲ辨シテ用ザル方法論アツテ方十キ章ヲ悉ク刪トリ用六ガルナリ

